

○水生生物モニタリング調査結果一覧（太田川F）

＜太田川F 水質底質採取項目＞

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
調査地点	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
F－1	○	○	○	○	○	○

＜太田川F 現場測定項目＞

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
調査地点	緯度	経度	日	時刻（水）	時刻（泥）	水温（℃）	泥温（℃）	性状	色相	混入物	全水深（m）	透視度（cm）
F－1	37.5975°	140.9252°	R6.6.27	09:02	09:13	19.8	20.1	砂	2.5Y4/2	なし	0.40	>50

＜太田川F 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
調査地点	緯度	経度	日	時刻												
F－1	37.5975°	140.9252°	R6.6.27	09:02	7.5	0.7	2.8	9.6	6.4	0.04	1.2	1	0.9	N.D. (0.0016)	0.064	0.0032

注）N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜太田川F 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2～75mm) (%)	粗砂 (0.85～2mm) (%)	中砂 (0.25～0.85mm) (%)	細砂 (0.075～0.25mm) (%)	シルト (0.005～0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
F－1	37.5975°	140.9252°	R6.6.27	09:13	7.1	482	22.1	1.3	2.3	2.640	20.0	32.2	38.6	5.1	0.4	3.7	0.90	4.8	4.4	350	0.47

注）N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

< 太田川F 分析項目 水生生物 >

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
F-1	太田川本流	37. 5975°	140. 9252°	R6. 6. 23	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物（藻類を含む）	—	0. 0050	—	—	—	130	N. D. (19)	130	—
					節足動物	昆虫	カワゲラ	カワゲラ	<i>Kamimuria tibialis</i>	カミムラカワゲラ	303	0. 011	幼虫	—	—	6. 1	N. D. (3. 7)	6. 1	—
					節足動物	昆虫	カワゲラ	カワゲラ	<i>Neoperla</i> sp.	フタツメカワゲラ属									
					節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	88	0. 015	幼虫	—	—	64	N. D. (11)	64	—
					節足動物	昆虫	トンボ	エゾトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ	136	0. 034	幼虫(ヤコ)	—	—	27	N. D. (3. 9)	27	—
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Stylogomphus suzukii</i>	オジロサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Melligomphus viridicostus</i>	オナガサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Sieboldius albardae</i>	コオニヤンマ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Davidius</i> sp.	ダビドサナエ属									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Asiagomphus melaenops</i>	ヤマサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ	トンボ	<i>Orthetrum albistylum speciosum</i>	シオカラトンボ									
					節足動物	昆虫	トンボ	ヤンマ	<i>Boyeria maclachlani</i>	コシボソヤンマ									
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ	40	0. 019	幼虫	—	—	15	N. D. (2. 5)	15	—
					節足動物	軟甲	エビ	テナガエビ	<i>Palaemon paucidens</i>	スジエビ	139	0. 28	成体	—	—	63	N. D. (2. 1)	63	—
					節足動物	軟甲	エビ	ヌマエビ	<i>Paratya improvisa</i>	ヌカエビ	654	0. 16	未成体/成体	—	—	70	N. D. (1. 7)	70	—
					節足動物	軟甲	エビ	モクズガニ	<i>Eriocheir japonica</i>	モクズガニ	5	0. 066	未成体	—	—	110	N. D. (3. 0)	110	—
					軟体動物	腹足	盤足目	カワナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	カワニナ	30	0. 024	成体	—	軟体部	54	N. D. (8. 1)	54	—
					脊椎動物	硬骨魚	ウナギ	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	ニホンウナギ	2	0. 40	未成魚/成魚	空胃	内臓除去	183. 6	3. 6	180	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Opsariichthys platypus</i>	オイカワ	9	0. 072	未成魚/成魚	—	—	78	N. D. (4. 3)	78	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Candidia temminckii</i>	カワムツ	31	0. 19	未成魚/成魚	—	—	48	N. D. (2. 0)	48	—
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	アユ	7	0. 17	未成魚/成魚	—	—	132. 5	2. 5	130	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>	オオヨシノボリ	15	0. 045	成魚	—	—	130	N. D. (7. 0)	130	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Rhinogobius nagoyae</i>	シマヨシノボリ									
					脊椎動物	両生	無尾	—	—	カエル類	38	0. 015	幼生(オタマシヤクシ)	—	—	46	N. D. (11)	46	—
					粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0. 25	—	—	—	162. 4	2. 4	160	—
F-5	太田川本流	37. 6022°	140. 9868°	R6. 6. 23	節足動物	軟甲	エビ	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	アメリカザリガニ	5	0. 082	未成体/成体	—	—	17	N. D. (2. 5)	17	—
					脊椎動物	硬骨魚	ウナギ	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	ニホンウナギ	1	0. 32	成魚	空胃	内臓除去	34	N. D. (1. 5)	34	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Opsariichthys platypus</i>	オイカワ	10	0. 059	未成魚/成魚	—	—	11	N. D. (1. 6)	11	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	1	4. 5	成魚	不明消化物	内臓除去	25	N. D. (1. 2)	25	1. 2
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	アユ	308	0. 96	未成魚	—	—	40	N. D. (3. 9)	40	0. 30
					脊椎動物	両生	無尾	アメリカカガエル	<i>Lithobates catesbeianus</i>	ウシガエル	48	0. 48	幼生(オタマシヤクシ)	—	—	86	N. D. (1. 6)	86	—

※１：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※２：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※３：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※４：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※５：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※６：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※７：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※８：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。